



ゆずりは



千葉市立こてはし台中学校

千葉市花見川区こてはし台5-15-1

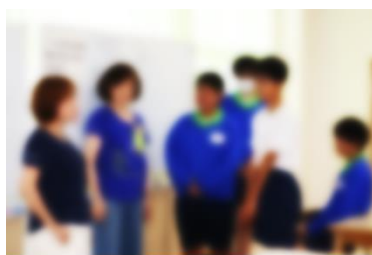
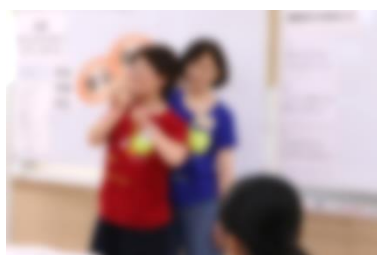
043 (259) 1336

令和6年度 第6号

令和6年10月10日(木) 発行

CAP研修(職員5月27日、2年生6月13日・14日、3年生6月25日・26日、保護者6月29日)

5月27日(月)～6月29日(土)にかけて、CAP(Child Assault Prevention)研修(子どもへの暴力防止プログラム)を実施いたしました。子どもたちがいじめや虐待、性暴力など様々な暴力から自分を守るための人権教育プログラムで、思春期の子どもたちの抱える身近な問題をロールプレイやディスカッション、様々なアクティビティを通して、どんな状況でも何かあったときにSOSを発する力を身に付けてもらうための取り組みです。いじめや痴漢、恋人間の暴力など一人一人が起り得るかもしれない一つ一つの事象に真剣に向き合い、「安心」して「自信を持ち」、「自由」に生きる権利を誰もが持っていること、いざとなったときにSOSを発信し続けることの大切さを学ぶことができました。



2年生命を守る教育(6月26日)

あかいし脳神経外科赤石江太郎先生をはじめ、花見川消防署、その他インストラクターの方々のご指導の下、命を守る教育(救命講習)を行いました。実践的な救急救命法(胸骨圧迫とAED使用)や救急隊員が到着するまでの対応についてご指導いただきました。最初は不安そうでしたが、最後は自信をもって対応できるまでに成長することができました。

命を守る4つの勇気

- ①人が倒れていたら声をかける勇気
- ②反応がなかったら人を呼ぶ勇気
- ③自分で胸骨圧迫を開始する勇気
- ④音声指示が出たらAEDのオレンジボタンを自分で押す勇気



総体コンクール壮行会(7月5日)

7月5日(金)に、部活動壮行会が行われました。壮行会は、大会出場者にとって、こてはし台中学校の代表として意気込みを伝える場であり、出場しない生徒にとっては努力している仲間を応援する場でもあります。当時は感染症による欠席者が多かったことから、急遽体育館からのリモートでの開催となりました。行進での入場ありませんでしたが、選手の皆さんは堂々とした姿で整列し、それぞれの部活動の代表が、大会・コンクールへ向けての抱負を語りました。

